

## 8-4-18 海岸・海洋専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を7回(4月、6月、7月、8月、10月、11月、1月)開催した。なお、6月の委員会では、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻の佐藤慎司教授を訪問し「最近の流砂系・漂砂系の総合的な土砂管理」について意見交換を行った。

#### (2) 島根県“くにびき”の海岸現地視察の実施

平成28年10月1日(土)～2日(日)に、島根大学教育学部の野村律夫教授(くにびきジオパーク・プロジェクトセンター長)及び林正久名誉教授のご案内により、稲佐の浜・菌の長浜、斐伊川・神戸川等の地形的、地質的特徴等を視察し、歴史的な視点から海岸地形と地域の文化と地域の人々の暮らし等の成り立ちを知り、沿岸域管理の原点を探求することを目的に実施した。

コンサルタントが、防護・環境・利用の調和を図りながら適正な沿岸域管理を行うためには、まず、対象となる海岸や背後地の地形形成過程を把握する必要がある。そして、その土地の歴史・文化がどのように育まれてきたのかを充分調査して、海岸の整備計画を策定することが、「地域に根ざした沿岸域管理」を実践するために重要であることを再認識できた。

#### (3) 海岸・海洋セミナー(第8回)の開催

セミナーは、新たな知見として、島根県の沿岸域を事例に、数千年オーダーで変化する海岸地形の変化過程や、地域の文化・生活史等を知ることによって、歴史的な視点から「沿岸域管理の原点」を探求し、地域の資源を活かす総合的沿岸域管理を実現するための建設コンサルタントの役割を考えることを目的に開催した。

##### a) テーマ

「地形・地質などの地域環境を踏まえた沿岸域

管理のあり方」～地域の資源を活かす総合的沿岸域管理を実現する建設コンサルタントの役割～

b) 日時：平成28年12月20日(水曜日)

c) 場所：建設コンサルタンツ協会本部会議室

d) 参加者数：43名

e) 講演概要

・【報告】「島根県“くにびき”の海岸現地視察報告」海岸・海洋専門委員会委員長 原文宏

・【講演1】「地域資源としての閉鎖性沿岸域と環境問題へ」島根大学教育学部野村律夫教授  
島根半島を事例に、数千年オーダーで変化する海岸地形の変化過程や、地域の文化・生活史を知ることによって、歴史的な視点から「沿岸域管理の原点」を探求することの重要性についてご講演いただいた。

・【講演2】「総合的沿岸域管理を実現する建設コンサルタント」東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授佐藤慎司氏

今後必要となってくる総合的沿岸域管理の方向性について、島根県海岸での現地視察で得られた時間スケールを意識した考え方及び、海洋政策参与会議等の上流側での検討の経緯や最新の議論等をご紹介いただくとともに、我々建設コンサルタントに期待する役割についてご講演いただいた。

#### (4) その他

(一財)全国建設研修センター「海岸技術の実務」への講師派遣(平成28年11月2日)

### 2. 次年度の活動について

これまでの活動を継続し、以下の活動を行う予定である。

- ・ 沿岸域の総合的な管理に関わる情報収集と検討課題の把握
- ・ 海岸の現地視察と意見交換会
- ・ 平成29年度海岸・海洋セミナー(第9回)の開催による技術情報の発信

(海岸・海洋専門委員会委員長 原文宏)